気液２相型アルゴン光検出器による暗黒物質探索

寄田浩平（早稲田大学）

今年度は電場0～3kV/cm迄のER/NR事象を取得・解析し、S1、S2光量の電場依存性を定量的に精査した。またPSDとS2/S1を統合したER/NR事象の識別力に関しても、消光因子の電場依存性等も考慮して評価した。年度後半からは本実験に向けた上下各7本での検出器設計・構築を行った。一方、さらなる高感度化に向けた低温駆動可能なSiPM Arrayの製作についても協議を進めている。